

情報名：単科大学および総合大学における SCI 論文に関する指標の
使用規制と、正しい評価の方向性の樹立について
情報番号：360A16-04-2020-0005-1
投稿日付：2020年2月20日
発表部門：教育省、科技部
文章番号：教科技〔2020〕2号
情報分類：教育総合管理

**単科大学および総合大学における SCI 論文に関する指標の
使用規制と、正しい評価の方向性の樹立について**

教科技〔2020〕2号

中央政府管轄各省、自治区、直轄市教育厅（教委）、科技厅（委、局）、新疆生産建設兵団教育局、科技局、関連部門（単位）教育司（局）、部属各高等学校、部省合建各高等学校、教育部関連司局、関連直属単位：

全国教育大会と2018年両院院士大会において、党の第十九大会の習近平総書記の重要演説の主旨を徹底的に実現するため、得点、進学、卒業証書、論文のみに重点をおく根深い悪習を排除する。「SCI論文至上主義」を規制し、科学的な評価システムの確立を探求し、大学に良好なイノベーション環境を構築し、教育管理システムと管理能力の向上を加速する。SCI論文至上主義は、中共中央弁公庁、国務院弁公庁により発行された《進一步に弘揚科学家精神、加強作風と学風建設について意見》の実施、及び《プロジェクトの評価、人材の評価、組織の評価の改革を深める》という意図を排除することになる。

教育省と科技省は、「大学におけるSCI論文に関する指標の使用を規制し、正しい評価の方向性を確立することに関するアイデア」を調査、策定する。

世界に誇る一流大学の建設、特に教育省直轄大学に関しては、「SCI論文に関する指標を規制し、正しい評価の方向性を確立するアイデア」に従い、それに基づく建設方法を再確認、変更する必要がある。関連する実施状況、経験、方法を整理して報告書を作成し、管理部門の審査を受けた後、2020年7月31日までに教育省科技部に提出してください。教育省関連局と直属部署は、その意図に基づき具体的な実施措置を提示し、7月31日までに教育省科技部に提出します。その他の大学と地方教育行政部門は各地域の情報を参照ください。実施プロセス中

の関連提案については、期限までに教育省に連絡ください。

教育省科技部

2020年2月18日

大学における SCI 論文の関連指標の使用の規制 正しい評価導向の樹立に関する意見

現在の科学研究成果の評価においては、SCI 論文に関連する指標の偏った、過度に歪んだ使用の状況を是正するために、さまざまな評価作業に基づき SCI 論文に関連する指標の使用方法を標準化する。定性的および定量的を組み合わせた包括的な評価方法を奨励し、科学的評価システムの確立を目指し、科学的精神を重視する評価作業を導入する。品質とサービスへの貢献を優先させ、大学を本来の学問の精神に戻すことを推進する。学問の精神を浄化し、学問のあるべき姿を最適化するため、以下のアイデアが提案されている。

* 「推动高等学校回帰學術初心，淨化学術風氣，優化学術生態」

1. SCI 論文と関連指標の正確な理解。SCI (Science Citation Index) は、内外に広く使われている科学技術文書である。SCI 論文とは SCI の対象となるジャーナルに掲載された論文である。それに関連する指標である論文の数、引用数、引用回数の多い論文、インパクトファクター、ESI (Essential Scientific Indicators Database) ランキングなどは、学術レベルやイノベーションへの貢献を評価するための直接的な基準とはならない。

2. 「SCI 論文至上主義」の影響が根強くみられる。SCI 論文に関する指標は、学術評価、専門職評価、業績評価、才能評価、科目評価、リソース割り当て、学校ランキングなどの主要指標に関わるため、大学の科学研究は SCI 論文に関する指標を過度に追求してきた。

公開された SCI 論文、インパクトファクターの高い論文、引用頻度の高い論文の数が基本的な目標となり、科学技術イノベーションに関して価値観が歪み、弊害が生じている。

3. 分類評価システムを確立し、評価方法を改善する。科学研究の種類ごとに、異なる評価システムを確立する必要がある。基礎研究について、論文は成果の主な表現方法ではあるが、「論文掲載雑誌による業績評価」を排除するべきである。評価のポイントは SCI 論文に関する指標を直接評価基準にするのではなく、論文の革新レベルと科学的価値にある。応用研究と技術革新の場合、論文を単一な評価基準とするのではなく、生産実践における主要な技術的問題を解決して、新しい技術・新製品・および産業用アプリケーションの新プロセスによる産業化応用に実際に貢献することが重要である。科学研究における、技術的成果の変革では、一般的には論文は評価指標として使用されない。

4. 学術のピア評価を改善する。実施部門はルールを改善し、研究者がさまざまな評価に参加する際に、学術的行動を遵守するように指導する必要がある。専門家による評価のアイデアを責任持って提供し、専門家の判断を SCI 論文に関連する指標や国内外の評価に置き換えるだけでなく、レビューの専門家の実際のパフォーマンス、学術的判断能力、および信頼性の対応する評価を実行し、レビュー評判評価システムを打ち立てる。

5. さまざまな評価活動を標準化する。プロジェクト評価、人材評価、組織評価の項目を大幅に削減する。学術的評価のために、組織と実施部門は、評価指標と方法に関して、各々の科学技術管理部門の意見に耳を傾け、明確な作業プロセスとルールを策定し、組織内のアイデアや発表も重視する。代表的な評価を実装し、アプリケーション資料を合理化および最適化し、SCI 論文に関連する指標の記入を不要にし、代表的な成果の革新と重要性に焦点を当てる。審査プロセスは厳密かつ科学的であり、ピアの原則に従い、審査対象を合理的にグループ化し、適切な専門家を選択し、ワークロードを適切に設定して、専門家が十分な審査時間を確保できるようにする。

6. 学科と大学の評価を改善する。分野と大学のランク付け評価を減らし、適切な分野評価を順守する。革新的能力の評価には、イノベーションの質と実際の貢献を慎重に定量的に指標選択し、SCI 論文に関連する指標を、直接的に、評価および研究費割り当ての基準として使用しない。国家のガイドラインと政策を正確に把握し、科学的に大学の評価ランキングを実施するように諸機関を指導する。

7. 役職の評価と採用方法を最適化する。役職の評価では、役職の特性、分野の特性、研究の性質に応じて教育機関を設立する必要がある。

SCI 論文とは関係なく、評価指標に基づき、実際のレベル、開発の可能性、および職務マッチングに焦点を当て、さまざまなポジションの評価および採用における論文の役割を改善する必要がある。職員の雇用において、学校は SCI 論文に関連する指標を前提条件として使用しない。

8. 評価と報酬の関係を是正する。学校の成績と雇用期間の評価において、SCI 論文に基づく指標を学部や個人に付与することは適切ではない。SCI 論文に関する指標を個人および部門の報酬に直接連動させないように指導する。

9. 学位授与の質と基準を科学的に設定する。学校は、人材育成の質と養成課程に注意を払い、現場の学科と指導教官が質を保証し、学位論文の審査方法を強化し、学科の特性等に応じた学位授与の品質基準を設定する。発表する SCI 論文の数とインパクトファクター等の指標を学生の卒業や学位授与の条件としない。

10. 正しい政策の方向性を確立する。大学、管轄部門、およびそれらの諸機関は、適切なガイダンスに従って学術文化の構築を主導し、SCI 論文に関する指標や ESI 指標のランキングを公表しないものとする。SCI 論文関連の指標は、研究者、専門分野、および大学による評価の指標として使用しない。